

## 令和5年度 活動の基本方針と取り組みの重点

岐阜県退職公務員連盟可児支部

### 今日の状況

コロナ感染症によるパンデミック、ロシアによるウクライナ軍事進攻を起因としたエネルギーや食料品を主とした物価上昇が顕著になってきています。社会保障制度もこれまでの高齢者中心とした施策から子ども家庭庁発足など全世代への施策と変化しています。私たち年金生活者にとって年金額の増減は大きな問題です。平成24年から振り返りますと左図のようになります

年度	年金額の改定	会員数
平成24年度	-0.3%	121
25年度	±0%	124
26年度	-0.7%	125
27年度	+0.9%	125
28年度	±0%	122
29年度	-0.1%	119
30年度	±0%	118
令和元年度	+0.1%	106
2年度	+0.2%	94
3年度	-0.1%	89
4年度	-0.4%	88
5年度	+1.9% (2.2%)	77

減額の年度が大半を占め、増額は3回ほどです。また、会員数の減少傾向が令和になって顕著になっています。コロナ禍であったことも要因ですが、予定していた年間事業計画の実施が見送られてきたことや新入会員の勧誘活動も制限されてきたことも会員数減少につながったと言えるでしょう。

本支部は、県の方針や本支部の規約に則り本年度の基本方針と取り組みの重点を次のように定めます。

#### ◎基本方針

- 組織・会務・事業の見直しと改善に努め、組織の拡充強化を図る
- 誰もが安心して暮らせる社会保障制度が構築されるよう努める
- 会員の生きがいづくりや支え合い活動を推進し会員の福祉を増進する

#### ◎取り組みの重点

1. 組織の拡充・強化と会員数の確保  
コロナ禍であっても可能な限り、総会や研修会を実施し本支部の存在意義を立証する。  
組織挙げての新入会員の勧誘体制を構築する。
2. 会員の福祉の増進  
高齢者の安否確認に努め、長寿者への記念品贈呈の方法を工夫する。  
功労者の顕彰・葬儀へ参列や遺族への慰問を行う。
3. 広報・情報の充実  
「退職公務員新聞」の配布や「会員名簿」・「支部広報」の作成配布を通して時宜を得た情報提供するとともに、会員との対話を通じて絆を一層深める。
4. 誰もが安心して暮らせる社会保障制度の構築  
年金制度・医療保険制度・介護保険制度の研修会を開催し、制度の現状・動向の情報提供をする。